

多摩都市モノレール

開業 20 周年を迎えました

1 多摩都市モノレールについて

多摩都市モノレールは、東京の多摩地域を南北に縦断しているモノレールです。11月27日に開業20周年を迎えました。

当社は、多摩地域の交通網の充実を図るために1986(昭和61)年に発足した第3セクターです。建設主体である東京都をはじめ八王子、立川、日野、東大和、多摩の沿線5市と西武鉄道、京王電鉄、小田急電鉄の各社が出資して設立されました。

2 運行の概要

90年11月に工事に着手し、98年11月27日に第Ⅰ期として上北台～立川北間(5.4キロ)で営業を開始しました。

2000年1月10日には第Ⅱ期の立川北～多摩センター間(10.6キロ)が開業しました。19駅を所要時間約36分で運行しています。

保有車両は64両で、4両編成でワンマンによる自動運転を行っており、最も混雑率の高い時間帯には6分間隔で運行しています。



車両は、VVVFインバーター制御方式のもので、ゴムタイヤにより乗り心地の良いものとなっています。また、車内から沿線風景を楽しんでいただけるよう、窓は大型のものとする等の工夫をしています。

2016年4月には利用者が5億人を突破しました。

3 20周年を記念してのイベント

多摩都市モノレールでは、高架を走行する眺望を活かして毎年「ワイン列車」を運行し、好評ですが、20周年の記念日当日には、「さ、いこう！な見晴らしツアー」を実施し、開業20周年記念ラッピング列車をデビューさせました。2019年4月30日まで運行の予定です。



※ 運行車両は4両編成です。



※ラッピング列車のヘッドマーク

4 これからの多摩都市モノレール

2016年4月の交通政策審議会の答申では、多摩都市モノレールの当初の構想区間は、多摩地域の主要地区間のアクセス利便性を向上させるべき区間とされ、上北台から北へ箱根ヶ崎まで、南は多摩センターから町田までの延伸が検討課題として挙げられました。また、利便性向上を期待する区間としては、多摩センターから八王子方面への延伸も示され、検討課題となっています。

これからも、沿線・地域の活性化への貢献を目指して参ります。

<問い合わせ>

多摩都市モノレール総務課

電話：042-526-7819